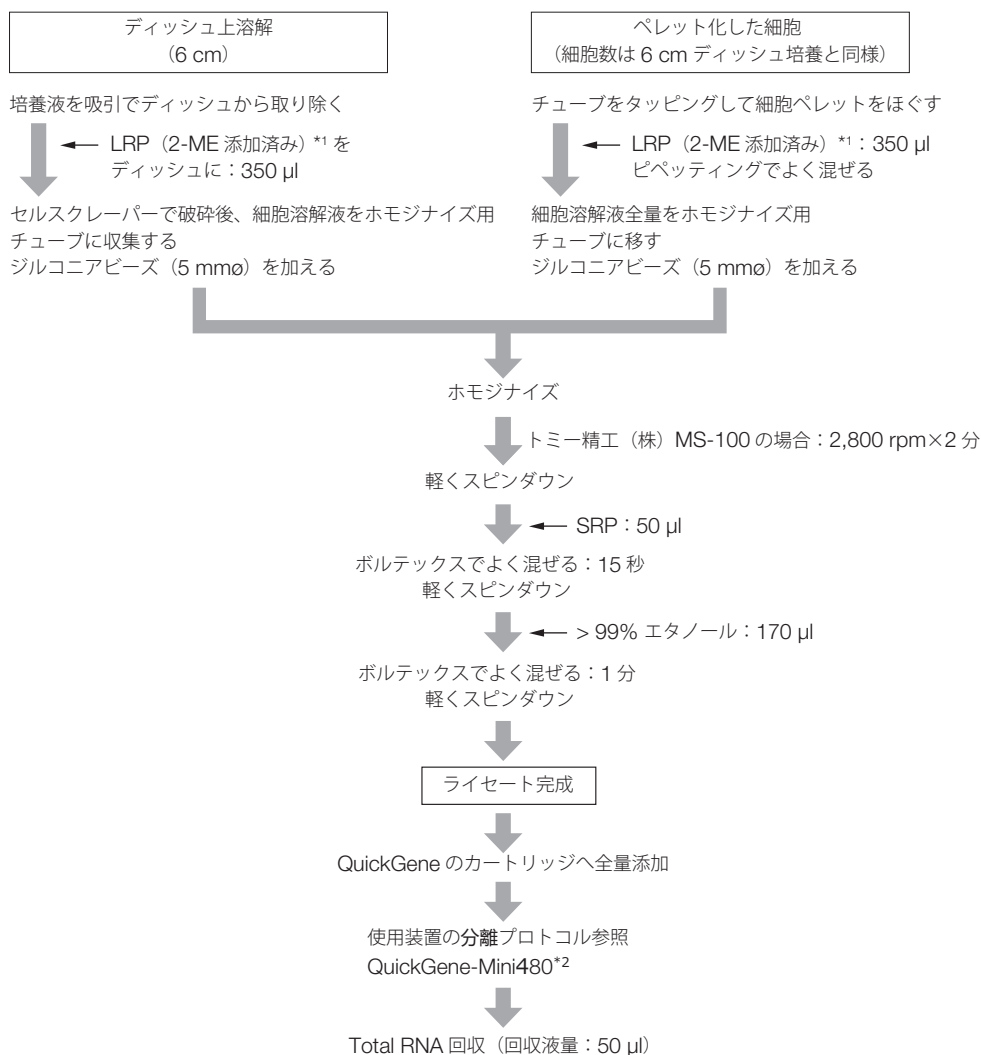


RG-15

NIH/3T3 細胞からのtotal RNA分離 (6 cmあるいは10 cmディッシュ)

プロトコル A



*1 2-メルカプトエタノール (2-ME) を使用前毎に必ず LRP に加えてください。
1 ml の LRP 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

接着細胞を直接 6 cm ディッシュで溶解するか、あるいはペレット化した浮遊細胞を溶解して total RNA を分離した。

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量 (DNase 処理あり)

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	収量 (μg)	
		QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)
NIH / 3T3	1.5	27.9	35.7

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

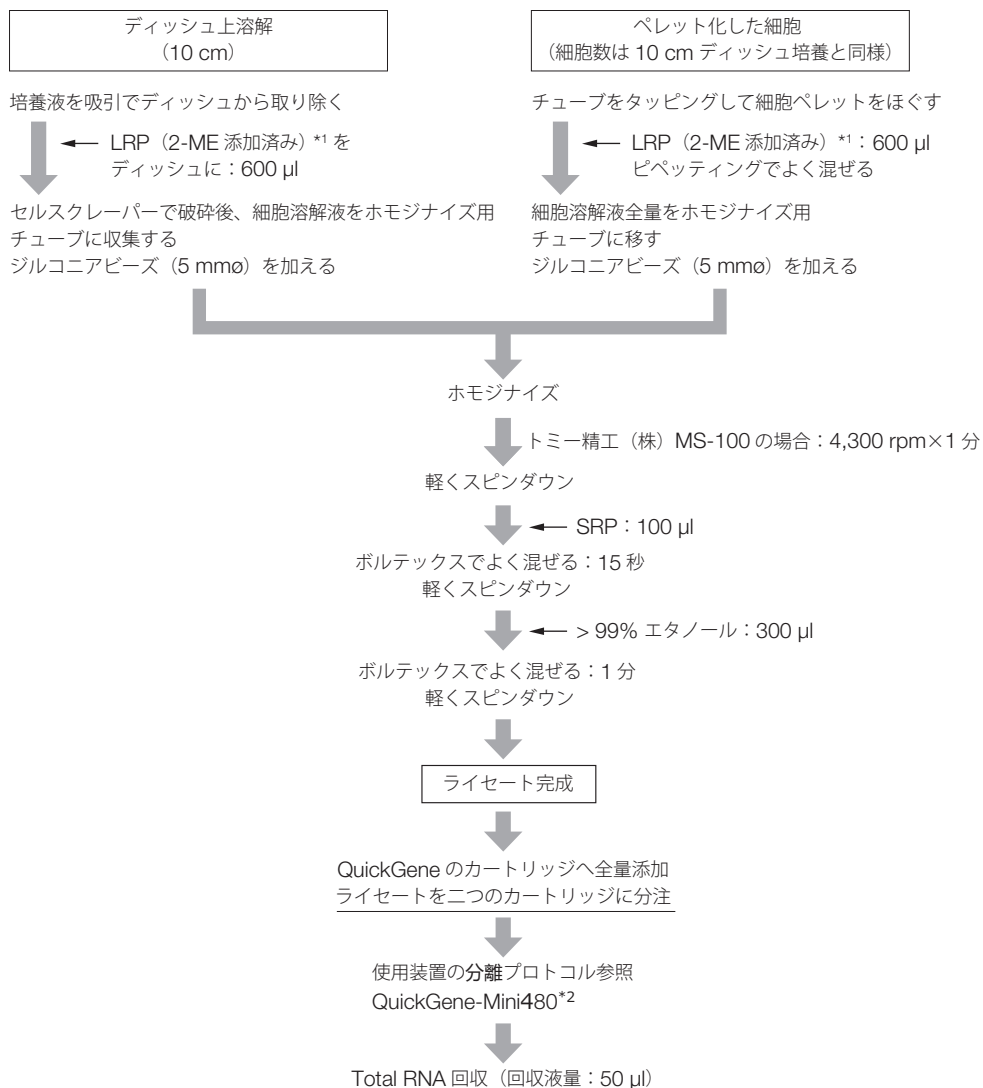
■ その他

データなし

共通プロトコルサンプル

培養 HeLa 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 HEK293 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 COS-7 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)

プロトコル B



*1 2-メルカプトエタノール (2-ME) を使用前毎に必ず LRP に加えてください。
1 ml の LRP 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

接着細胞を直接 10 cm ディッシュで溶解するか、あるいはペレット化した浮遊細胞を溶解し total RNA を分離した。

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	収量 (μg)			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピンカラム法	QuickGene	スピンカラム法
NIH / 3T3	4.5	89.4	100.2	79.0	84.0

QuickGene システムを用いて、マイクロアレイ、ノーザンブロットングなどに必要な量の total RNA が得られた。

タンパク質の混入：A260/280

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	A260/280			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピンカラム法	QuickGene	スピンカラム法
NIH / 3T3	4.5	2.19	2.02	2.17	2.12

QuickGene システムを用いることで、タンパク質の混入の少ない高純度の total RNA 分離ができた。

カオトロピック塩の混入：A260/230

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	A260/230			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピンカラム法	QuickGene	スピンカラム法
NIH / 3T3	4.5	2.02	2.26	1.94	1.75

QuickGene システムを用いることで、カオトロピック塩の混入の少ない高純度の total RNA 分離ができた。

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

培養 HeLa 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 HEK293 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 COS-7 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)